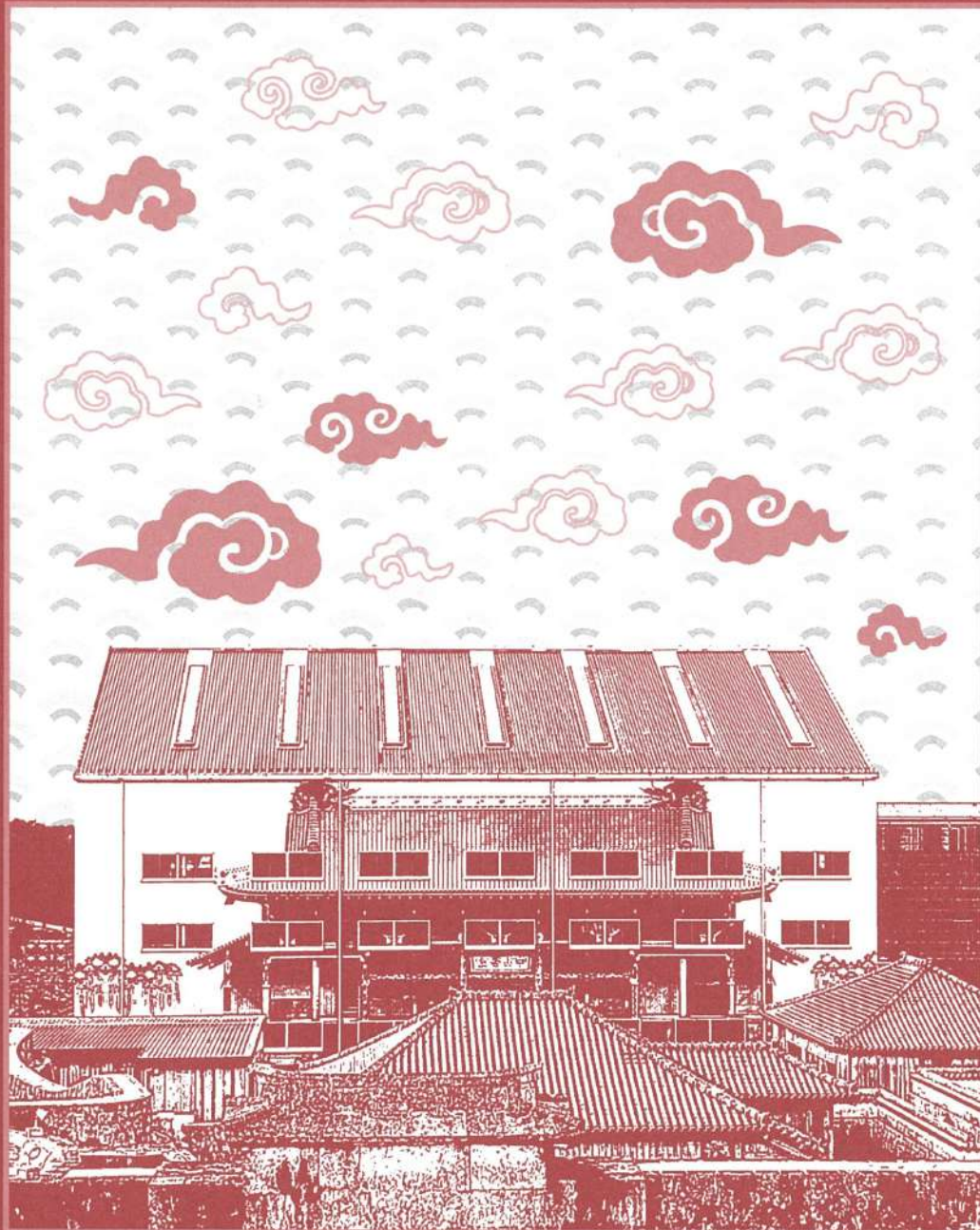


# 首里城研究 No.27

March 2025  
首里城研究会編



〔研究ノート〕 首里城正殿構造の不思議：清末正殿に残る  
明初福建式楼閣構造の理由／伊從 勉

〔研究ノート〕 琉球藩王「冊封ノ詔」と三つの「琉球藩印」の顛末／金城 善

〔研究ノート〕 続 貝窓のある風景－益子参考館の事例から－／仲座 久宜

〔研究ノート〕 デジタル化琉球芸術写真（鎌倉芳太郎撮影）による  
御後絵の表具形式の考察／平川 信幸

〔研究ノート〕 琉球人の「遺言書」を読み解く／真栄平 房昭

## 目次

- 🌸 [研究ノート] 首里城正殿構造の不思議：清末正殿に残る明初福建式楼閣構造の理由……………04  
伊從 勉 [京都大学名誉教授]
- 🌸 [研究ノート] 琉球藩王「冊封ノ詔」と三つの「琉球藩印」の顛末…28  
金城 善 [元糸満市立中央図書館長]
- 🌸 [研究ノート] 続 貝窓のある風景—益子参考館の事例から—……40  
仲座 久宜 [沖縄県立埋蔵文化財センター 副参事兼班長]
- 🌸 [研究ノート] デジタル化琉球芸術写真(鎌倉芳太郎撮影)による御後絵の表具形式の考察……………56  
平川 信幸 [沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員]
- 🌸 [研究ノート] 琉球人の「遺言書」を読み解く……………75  
真栄平 房昭 [元琉球大学教授]





表紙【素屋根】東のアザナより望む

『首里城研究』掲載規程

\* 首里城をめぐる歴史・文化・建築等およびこれに連携するテーマであるならば、非会員の投稿も受け入れています。

\* 論文は原則として10～25頁以内(本文・図表等を含む)です。

\* 締め切りは原則として毎年12月末日です。

\* 論文については1篇につき2名の査読者に審査をお願いし、その報告をもとに編集委員会(安里進・伊従勉・平良啓・高良倉吉)で採否を決定します。

\* 連絡先=首里城公園友の会事務局 〒903-0815 那覇市首里金城町1-2 ☎098-886-2279(受付時間 9:00~18:00)

首里城研究 No.27

編集/首里城研究会 発行/首里城公園友の会

編集著作/首里城研究会 2025年(令和7)3月31日発行

▶無断転載及び複製して使用することを禁じます。

○本会誌は、一般財団法人沖縄美ら島財団の助成金を得て発行しています。